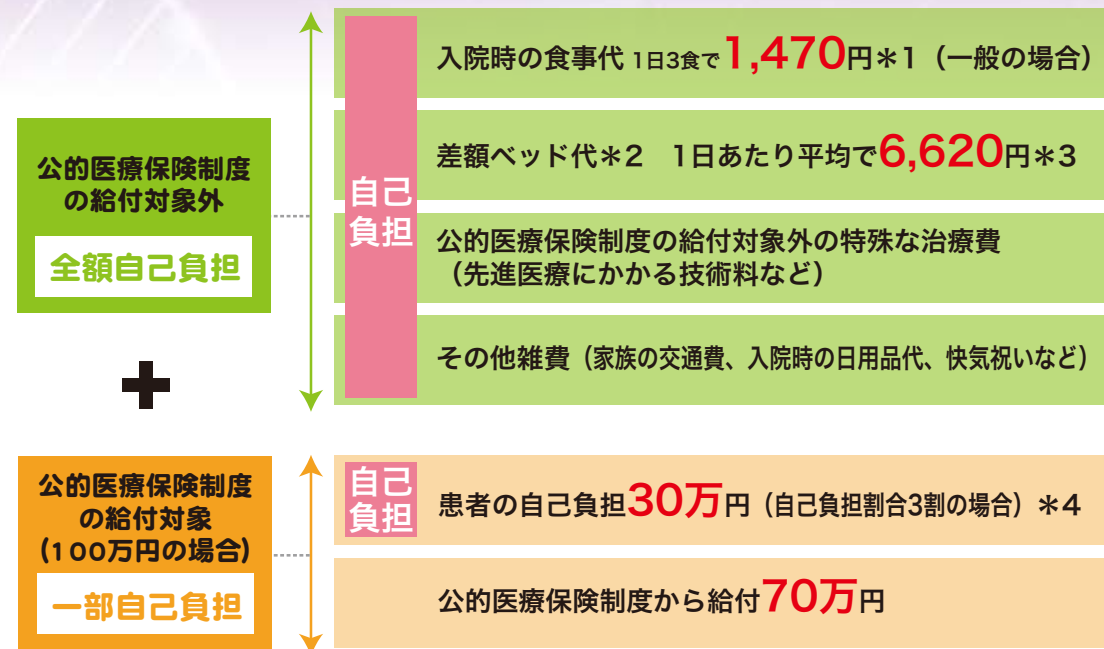


ご存知ですか？・・・公的医療保険制度

公的医療保険制度による自己負担のしくみ



* 1 : 2024年6月以降の金額です。

* 2 : 病は差額ベッド代を徴収する場合、患者の同意を得ることが定められています。

* 3 : 中央社会保険医療協議会「主な選定療養に係る報告状況」より。令和4年7月1日現在の金額(推計)です。

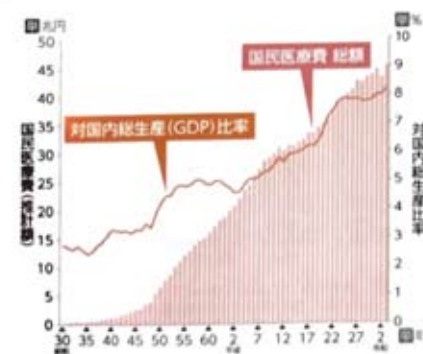
* 4 : 患者の自己負担額30万円のうち、1か月の医療費が一定額(自己負担限度額)をこえた場合には、こえた金額については、高額療養費として払戻しを受けることができます。

日本の公的医療保険制度は充実しているので治療費の自己負担はさほど高額ではないものの、入院時の食事代や差額ベッド代など思わぬ出費がかかります。
公的医療保険制度と照らし合わせてご自身の医療保険の見直しをすることが大切です。
気になる方はお近くのラッキーバッグ店舗にてご相談ください。

増え続ける国民医療費

令和3年度の国民医療費は45兆359億円。

高齢化の伸展とともに増大する医療費の状況は深刻です。



厚生労働省「令和3年度 国民医療費の概況」



高齢者の医療費

令和3年度 国民医療費			
年齢階級	推計額	構成割合	人口1人あたり国民医療費
総計	450,359億円	100.0%	358.8千円
65歳未満	177,323億円	39.4%	198.6千円
0~14歳	24,178億円	5.4%	163.5千円
15~44歳	53,725億円	11.9%	133.3千円
45~64歳	99,421億円	22.1%	290.7千円
65歳以上	273,036億円	60.6%	754.0千円
70歳以上(再掲)	233,696億円	51.9%	824.5千円
75歳以上(再掲)	172,435億円	38.3%	923.4千円

厚生労働省「令和3年度 国民医療費の概況」

